

図書便り



練馬区立石神井西中学校

令和元年 7月

もうすぐ待ちに待った夏休みです。

今月初旬には新着図書がはいり、夏休み特別貸出しをします。たくさんの方の利用をお待ちしています。

〈7月図書カレンダー〉

| 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|-----------------------|-------------------------|-------------|----------------|---------------|-------------------|--------------|
| 1 朝礼 中央委員会 安全指導 | 2★ オーケストラ 鑑賞教室 1年 | 3★ 各種委員会 | 4 | 5★ | 6 | 7 |
| 8★ 朝礼 | 9 | 10 | 11★ 2年着付け体験 | 12 2年着付け体験 | 13 閉室 授業日・避難訓練 | 14 |
| 15 海の日 | 16★ | 17 閉室 | 18★ 大掃除 | 19 閉室 終業式 | 20 | 21 夏季休業日始 |
| 22★ | 23★ | 24 | 25 | 26 | 27 1年臨海学校 | 28 |
| 29 | 30 | 31 | | | | |

※月～金曜日のお昼休みは、開室、貸出しをしています。
(開室時間は図書室入口に表示してあります。)

★がついている日は、学校図書館支援員が在室、放課後貸出しをしています。

※閉室の場合は、返却する図書を廊下の返却BOXに入れてください。

※閉室と表示されている日は、閲覧、貸出しできません。

※7/16～7/19の期間は図書委員の当番はありません。ただし7/16,7/18は開室しています。

1. 夏休み特別貸出しについて

期間：7月4日(木)～9月3日(火) / 冊数：一人5冊

※たくさんの方が利用が予想されるので、この期間より前に借りた本は一度返却してください。

また、終業式前に読み終えた場合は借りなおしすることができます。

2. イベント予告

図書委員会では9月に“石西秋の本祭り”を開催予定です。

今回は、スタンプラリー×くじ引き×クラス対抗ブックレースを企画中です。お楽しみに！

3. ビブリオバトルを開催します！

3年生が7月の国語の授業の中でビブリオバトルを行います。その後、各クラスの優勝者を集めて、9月5日(木)放課後、関町図書館2階視聴覚室で“石西中ビブリオバトル決戦大会”を開催する予定です。

今回の“石西中ビブリオバトル決戦大会”は、関町図書館とのコラボレーション企画です。

詳細が決まり次第、放送・掲示などでお知らせします。

※ビブリオバトルに関する資料は図書室にありますので、ご利用ください。

また、わからないことがあったら支援員にお尋ねください。

お薦め本の紹介

～新着図書コーナーより～

7月初旬に新しい本が入ります。たくさんの中から一部を紹介します。7月図書便り付録も合わせてご覧ください。

『天使のにもつ』 いたう みく 著

童心社 (請求記号: 913 イ)

挨拶がちゃんとできない。マナーも悪い。口のきき方も知らない。そんな中学2年の風汰が「一番楽そうだから」という理由で選んだ職場体験先は保育園。しかし実際に働いてみると、予想とは違ってとっても疲れるし、保育園児にまで注意されてしまう。「なんでこんなところ選んじゃったんだろう！」と保育園の看板に目をやって出てくるのはため息ばかり。

風汰は、無事職場体験を終えることができるのでしょうか？それは読んでみてのお楽しみ。読みやすく、読後感が爽やかな風汰の5日間の物語です。



『青い光が見えたから』 ～16歳のフィンランド留学記～

高橋 絵里香 著

講談社 (請求記号: 916 タ)

小学校4年生の時に読んだ「ムーミン」の物語。その魅力に導かれてフィンランドに旅立った16歳の少女が出会ったのは、温かい人々と真の教育だった。

フィンランドの高校に留学した著者が留学生活を綴った一冊です。



『青春のジョーカー』 奥田 亜希子 著

集英社 (請求記号: 913 オ)

スクールカースト最底辺に属する中学3年の基哉^{もとや}。身長は180cmと高いが、顔は中の下。数少ない友人の尚介、弦と話す内容はゲームのことばかり。

ある日、大学デビューを果たした兄からサークルのバーベキューに誘われる。そこで一人の女子大生との出会いをきっかけに、基哉は学園生活におけるの切り札(ジョーカー)を知ることになる。ひと夏の経験が少年を成長させる物語です。

『スマイル・ムーンの夜に』 宮下 恵菜 著

ポプラ社 (請求記号: 913 ミ)

休み時間のたび、スマホ片手にトイレにこもる麻帆^{まほ}。全身校則違反で、周囲から浮いている沙羅。何に対しても、興味が持てない翔太。母の望むいい子を演じ続けるのぞみ。

みんな窮屈^{きゆうくつ}でたまらないのに、どうしたらいいのかわからず悩み続けていた。そんな中学生たちが、もがきながらも新しい自分と居場所を見つける物語です。

『義足のアスリート 山本 篤』 鈴木 祐子 著 東洋館出版社 (請求記号: 782 ス)

傷害を負ったことは苦難ではなく、全霊をかけて取り組むに値する新たなチャレンジとの出会いだった。

誰もが息を呑むほどの美しい跳躍^{ちようやく}を見せる、パラリンピック陸上競技選手・山本 篤^{あつし}の全てを描いたフィクションです。

来年開催される、東京オリンピック・パラリンピックの前にぜひ読んでみたい一冊です。

